

日英両言語における名詞化のタイプをめぐって ——日本の多言語表示に見る 2 字漢語動名詞を中心に——

尹 亭 仁

1. はじめに

母語が目標言語の習得を促進することを「正の転移」positive transfer と言う。外国語教育において、母語と目標言語との間に正の転移となる要素があると、学習は比較的スムーズに進む。今日、図 1～図 3 のように、日本全国で広がっている多言語表示の中の「出発＝出发＝출발(出発)」「警告＝警告＝경고(警告)」「避難＝避难＝피난(避難)」のような多くの漢語動名詞 (Verbal Noun=VN) は正の転移として、日中韓 3 言語の学習者の語彙力と表現力の向上に役立っている。



図⁽¹⁾1 出発：departure



図 2 警告：warning



図 3 避難：evacuation

では「出発」に併記される英語の「departure」はどうであろう。日中韓 3 言語のように、「出発＝departure」「警告＝warning」「避難＝evacuation」の対応は正の転移の要素になれないのだろうか。

〈表 1〉のように、英語は名詞化のタイプが多岐にわたっており、その規則化は難しく見える。そのため、英語の名詞化は学習者に母語が目標言語の習得の妨げになる「負の転移」negative transfer のように見えている。

〈表 1〉日本の多言語表示に見る日中韓英 4 言語の漢語 VN の対応

日本語 VN	韓国語	中国語	英語（名詞）	英語（動詞）
出発(スル)	출발(出發) (hada)	出发	departure	depart
展示(スル)	전시(展示) (hada)	展示	exhibition	exhibit
予約(スル)	예약(豫約) (hada)	预约	reservation	reserve
予約(スル)	예약(豫約) (hada)	预约	appointment	appoint

英語の名詞化は、主に動詞・形容詞に接尾辞が接続して行われるため、日本語の名詞化とは逆方向である。日本語は漢語 VN の動詞化を接尾辞の「-スル」に一本化しているが、英語はそうではない。

接尾辞を中心に英語の名詞化のタイプを捉えると 10 以上見られる。さらに日英両言語の対応では、負の転移につながる関係も多々見られる。しかし、「漢語 VN」という動詞の下位カテゴリーを軸に据え、「reserve - reservation：予約する-予約」「refrain - refrainment：遠慮する-遠慮」「park - parking：駐車する-駐車」のように捉えていくと、対応関係が体系的に見えてくる。acculturation（文化順応）・hyphenation（ハイフンで連結すること）・jurisdiction（司法権）・gentrification（ジェントリフィケーション）のように 2 字漢語 VN では捉えられない名詞も多いが、派生名詞のタイプの類型や名詞化における規則性の傾向、派生名詞の意味上の分布はつかむことができる。

本稿では、日本の漢語 VN、とりわけ漢語 VN の約 9 割を占めている 2 字漢語 VN と英語の名詞との対応を取り上げ、この対応関係が「正の転移」として英語の学習に役立つことを論じる。

2. 先行研究の考察

多くの漢語を共有している日中韓の 3 言語の学習者にとって漢語 VN は大きな正の転移の 1 つである。日中両言語においては 5 割強の正の転移が見られ（尹亭仁：2024a）、日韓両言語において正の転移は 8 割強で推移している（尹亭仁：2024b）。日英の「出発=departure」「予約=reservation」のような対応も -ment・-tion・-ure など接尾辞を中心に体系的に捉えると 5 割強の正の転移になると予想される。

影山（1993）では一部の漢語 VN の用法が取り上げられているが、漢語 VN における助詞ヲの挿入に関するものである。影山（2011）では漢語 VN だけでなく、名詞の動詞化の様子も取り上げられ、本稿での考察に多くの示唆を与えている。

日本語の 2 字漢語 VN は、日韓両言語の対応では「漢語（スル）⇔漢語（hada）」、日中両言語の対応では「漢語（スル）⇔漢語（の）」の 1 つのタイプになる場合が多いが、日英両言語においては、多岐にわたっている。この点が日英両言語間の正の転移に気づきにくくしている。しかし、一部の漢語 VN の用法からは見えない日英の対応の規則性が、母数を増やすと見えてくる。この規則性の体系的提示が正の転移としての役割を果たす。

3. 漢語動詞と和語動詞の共存

3.1 漢語動詞と和語動詞の関係

日本語において、漢語動詞は和語動詞より多い。(1) の例を見てみよう。

(1)	漢語	和語	漢語	和語
	確認する	確かめる	継続する	続ける
	攻撃する	攻める	祝賀する	祝う
	選択する	選ぶ	染色する	染める
	一任する	任す	比較する	比べる
	移動する	移る・動く	防止する	防ぐ
	治療する	治す	表現する	表わす…

(1) で分かるように、多くの漢語動詞と和語動詞は類義語関係にある。そのため、英語との対応を漢語動詞に一本化する、すなわち類義語の中心的意味の役割を漢語動詞に一任すると、両言語の対応はシ

ンプルでより鮮明に見えてくる。

3.2 漢語動詞の語数

尹亭仁 (2024b) は、『デイリーコンサイス国語辞典』(2010) には 7,000 語以上の漢語 VN が載っていると報告し、中で 4,000 語を使用語彙として提示している。『グランドセンチュリー和英辞典』(2012) を対象にした調査からは 3,000 語以上の漢語 VN の用法が確認された。これは、英語との対応において 3,000 語を使用語彙として見ることができる。

4. 英語の名詞化のタイプ

4.1 名詞化に関わる接尾辞

日本語において漢語動詞は、漢語 VN に接辞の-スルが結合して派生するが、英語は日本語と違って多岐にわたっている。Plag (2003: 86-94) は英語の名詞化に関わる接尾辞を (2) のように挙げている。22 の接尾辞が提示されている。この中には本稿の考察対象になる接尾辞も含まれているが、-dom・-ness のように、名詞や形容詞に付いて名詞化するものも含まれている。

- (2) -age・-al・-ance (-ence/-ancy/-ency)・-ant・-ce/-cy・-dom・-ee・-eer・-er/-or・-(e) ry・-ess・-ful・-hood・-(i) an/-ean・-ing・-ion・-ism・-ist・-ity・-ment・-ness・-ship

Bauer (2022: 52) は 12 の接尾辞を取り上げている。

- (3) -age・-al・-ance・-ancy・-ation・-ence・-ing・-ion・-ment・-ter・-ure・-ency

Plag (2003) が異形態として扱ったもの、例えば、-ance (-ence/-ancy/-ency) を Bauer (2022: 52) は分けている。これを見ると、捉え方に開きがあるように思われる。Plag (2003) にも Bauer (2022: 52) にも載っていないが、Reiko Sakai (2009: 230)、宮井・ダベンポート (2012: 1772) には -y も接尾辞として取り上げられている。國廣哲彌 (1999) にも一部の接尾辞が取り上げられている。

4.2 派生名詞の語数

英語の派生名詞の語数は把握が難しい。-tion (異形態の -sion も含む) が接続するものだけでも 10,000 語以上と言われている。Plag (2003) や Bauer (2022) が提示する接尾辞を参考に動詞から派生する名詞まで含めると 20,000 語以上になると予想する。両者は取り上げていないが、ゼロ派生⁽²⁾として、動詞形=名詞形も少なくない。筆者は尹亭仁 (2027 刊行予定) をベースに日英両言語の名詞の対応関係を調べているが、異なり語数として 200 語以上把握している。(4) のような例が挙げられる。

- | | | |
|-----|--------|-----------|
| (4) | 日本語 | 英語 |
| | 営業(する) | business |
| | 購入(する) | purchase |
| | 浪費(する) | waste |
| | 流布(する) | spread |
| | 統制(する) | control … |

5. 日本の言語景観に見る英語の名詞のタイプの様子

5.1 日本の言語景観に見る名詞の接尾辞のタイプ

日本の言語景観には多くの英語の並記が見られる。いくつかの名詞のタイプを見てみよう。



図4 精算：(fare) adjustment



図5 到着：arrival



図6 襲来：invasion

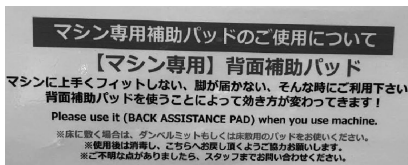


図7 補助：assistance

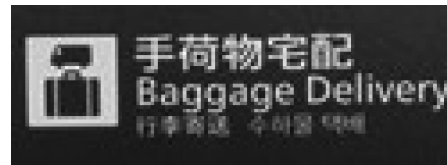


図8 宅配：delivery



図9 詣⁽³⁾：pilgrimage

図1～図9の日本語の漢語 VN と英語の名詞は (5) のように対応している。

(5) 日本語	英語の派生名詞 (動詞)	接尾辞
到着	arrival (> arrive)	-al
巡礼	pilgrimage (> pilgrim)	-age
補助	assistance (> assist)	-ance
宅配	delivery (> deliver)	-ery
警告	warning (> warn)	-ing
精算	adjustment (> adjust)	-ment
襲来	invasion (> invade)	-sion
避難	evacuation (> evacuate)	-tion
出発	departure (> depart)	-ure

図 10 と図 11 はゼロ派生のもので、動詞として用いられている。



図 10 放置する：leave



図 11 停止する：stop

5.2 様々な対応の様子

5.2.1 -tion 形

日本の多言語表示からは -tion が接続した名詞形が最も多く見られる。この -tion 形を追うだけでも学習効果が上がると思われる。筆者は授業で、本稿で提示した -tion 形だけでなく、ニューヨークの言語景観から集めた英単語の資料集から漢語 VN に相当する英語をピックアップし⁽⁴⁾、正の転移の要素として位置づけ、COUPLING・MATCHING のトレーニングの指導をしている。-tion 形と -ment 形に注意



図 12 協力：cooperation



図 13 発酵：fermentation



図 14 予約：reservation

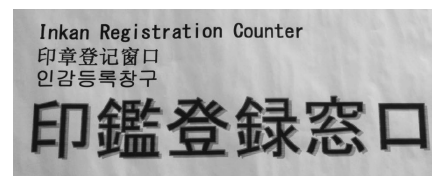


図 15 登録：registration



図 16 検証：verification

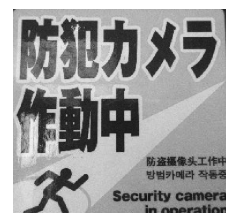


図 17 作動：operation

を払いながら芥川龍之介の「鼻」の英訳版，言語景観に関する原書も取り上げている。



図 18 禁止：prohibition

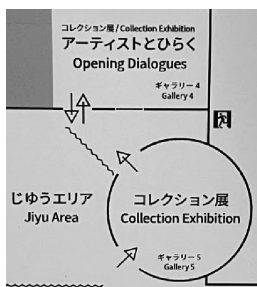


図 19 展⁽⁵⁾：exhibition

5. 2. 2 -ment 形

-tion 形ほどではないが，図 20 と図 21 のように -ment 形も見られる。



図 20 予約：appointment

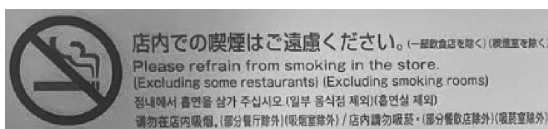


図 21 遠慮：refrain (ment)

5. 2. 3 -ing 形

図 22 と図 23 のように -ing 形も見られる。



図 22 警戒：warning



図 23 駐車：parking

5. 2. 4 その他

図 24 の -al 形も見られる。「放置した自転車」は abandoned bicycles に訳されており，-ment 形に慣れると，abandon から abandonment を連想するだろう。筆者はこれを COUPLING と呼んでいる。これについては 6. 1 で取り上げる。

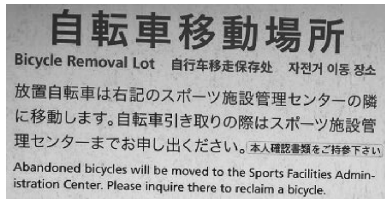


図 24 移動：removal

図 25 は漢語 VN の「通報」に対して動詞の notify が用いられた用例である。図 26 は漢語 VN の「協力」に対して動詞の cooperate が用いられた。日本語の「ご通報」「ご協力」の名詞はしばしば英語の動詞と対応している。



図 25 通報：notify



図 26 協力：cooperate

5. 2. 5 漢語動詞と英語の動詞の対応

漢語 VN と英語の名詞の対応ほどではないが、両言語ともに動詞が用いられている例も見られる。図 27～図 30 を見てみよう。



図 27 違反する：violate

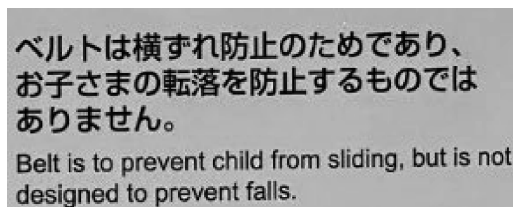


図 28 防止する：prevent



図 29 入室する：enter



図 30 禁止される：be prohibited

このように、日本中に広がっている多言語表示を視覚教材として導入し、漢語 VN という動詞の下位

カテゴリーで日英両言語の対応関係を整理することで、両言語間の名詞化という関連性が生かせる。

6. 正の転移としての取り組みと3つのフレーム

従来、漢語 VN に関する研究は日韓両言語や日中両言語など漢字・漢語を共有している言語間で行われてきた。「共通の文字＝共通の意味」として捉えやすいためである。しかし、プロセスは逆方向であっても日本語の多くの漢語 VN と英語の派生名詞は「名詞化」という共通性を持っている。筆者は日本語の漢語 VN と英語の派生名詞との対応に見られる名詞化を正の転移として捉え、3つのフレームを設け、その類型化を試みている。

6.1 COUPLING (カップリング)

COUPLING は (7) の英語の動詞と派生名詞との対応を指す。(3) や (5) のように接尾辞の用法と分布の様子が把握できる。

- (7) exhibit - exhibition
- evacuate - evacuation
- adjust - adjustment
- remove - removal
- depart - departure
- warn - warning

6.2 MATCHING (マッチング)

MATCHING は (8) のような日本語と英語との対応を指す。尹亭仁 (2024b) には 7,000 語の漢語動詞が取り上げられている。筆者は現在日英両言語間でどれくらいの MATCHING があるかを調べている。漢語を共有しているから見える日中韓 3 言語の特徴に注目しつつ、共有しているため却って見えない要素を英語との MATCHING で見つけることが目的である。この MATCHING により直進・完敗・急増・激変など、副詞的要素が含まれる自動詞 VN が多い日本語の語構成の特徴が具体的に捉えられると期待している。

- (8) 説明：examination
- 展示：exhibition
- 到着：arrival
- 出発：departure
- 避難：evacuation

6.3 GROUPING (グルーピング)

GROUPING は、(9) のように英語を接尾辞ごとに分類することを指す。

- (9) -age : marriage・pilgrimage・storage
- al : arrival・proposal・refusal
- ance : assistance
- cy : bankruptcy

-ence : interference · reference
 -ery : delivery · discovery
 -ing : hunting · smoking · swimming · warning
 -ment : adjustment · development
 -tion : exhibition · examination
 -ure : departure · enclosure · failure · seizure

(9) の -tion は (10) のように、下位グルーピングもできる。

(10) -ation : confirmation · explanation · formation · occupation
 -cation : evocation · provocation · publication
 -ication : application · certification · notification · purification
 -ion : invention · prevention · collection · selection
 -ison : comparison · jettison
 -ption : absorption · consumption · resumption · subscription
 -sion : emission · permission · submission

他にも (11) のような COUPLING が挙げられる。

(11) live - life · relieve - relief
 succeed - success · proceed - process
 abuse/z/- abuse/s/ · increase - increase
 foresee - foresight · ゼロ派生

7,000 語の漢語 VN の MATCHING では接尾辞の「-tion」(異形態の -sion など含む) と結合する名詞形が最も多く、全体の 5 割以上と予想する。中には両言語間で対応しない名詞も浮き彫りになる。

(12) の例を見てみよう。

(12) ammunition : 弾薬, 攻撃手段, 防衛手段
 ascription : 生まれた環境によって決まる社会的地位
 attribution : 属性・特質
 inflammation : 炎症
 reputation : 評判

(13ab) の 3 字漢語 VN と 4 字漢語 VN の存在も少なくない。

(13) a. activation : 活性化
 commercialization : 商業化
 justification : 正当化
 objectification : 客観化
 systematization : 組織化
 b. colonization : 植民地化

palatalization : 口蓋音化

COUPLING のタイプを類型化すると、英語の派生名詞の分布上の様子から日英両言語の語構成および名詞化の特徴がはっきりと見えてくると思われる。特に、(14) のように、漢語 VN と英語の名詞が対応しない場合、日英両言語間における概念化のずれが把握できる。

(14)	漢語動詞	漢語 VN	英語 (名詞)	英語 (動詞)
a.	悲観する 監視する	悲観 監視	pessimism surveillance	対応する英語の動詞がない 〃
b.	出家する 帰国する	出家 帰国	- -	対応する英語がなく説明になる 〃
c.	独立する 意識する	独立 意識	independence consciousness	対応する英語が形容詞になる 〃
d.	普及する 在籍する	普及 在籍	distribution enrollment	対応する英語が受身形になる 〃
e.	完敗する 奇襲する	完敗 奇襲	total defeat surprise attack	対応する英語に修飾語が必要 〃

7. 期待できる学習効果

英語の動詞と派生名詞との COUPLING と日英両言語間の MATCHING が整備されると、英語の語構成の把握がよりしやすくなる。それを詳しく見てみよう。

7.1 英語の形容詞や副詞への派生の把握

(15)	construct	construction	constructive	constructively
	restore	restoration	restorative	restoratively

7.2 英語の受身表現の把握

図 24 と図 30 に見られたように、受身表現の把握もしやすくなる。日本の博物館や美術館では permit と prohibit の受身形が多く見られる。

(16)	complete	be completed	completion
	prohibit	be prohibited	prohibition
	remove	be removed	removal
	permit	be permitted	permission

7.3 英語の行為者を表わす名詞形の把握

(17)	compress	compression	compressor
	inhale	inhalation	inhaler
	prosecute	prosecution	prosecutor
	ventilate	ventilation	ventilator

7.4 英語の類義語の把握

- (18) 開始: beginning · commencement · inception · launch · start
 拡大: amplification · enlargement · expansion · magnification
 確認: affirmation · certification · confirmation · verification · validation
 強化: consolidation · intensification · reinforcement · strength

7.5 英語の対義語の把握

- (19) assimilation : 同化
 dissimilation : 異化
 appearance : 登場
 disappearance : 消滅

7.6 英語の接頭辞と接尾辞の把握

接尾辞の学習のみならず接頭辞の把握にも役に立つ。

- (20) com-/con- : confirmation · confrontation · contemplation · contribution
 em-/en- : enlightenment · engagement · enshrinement · embodiment
 pro- : projection · pronunciation · protection · protrusion

7.7 日本語の類義語の把握

- (21) 区別・識別・判別・弁別: distinction
 修正・改定・改訂・補正: revision
 変化・推移・転換・変更: change

7.8 日本語と英語の複合語の対応の把握

- | | | |
|-----------|------------------|-------------|
| (22) 精算-機 | fare adjustment | adjustment |
| 展示-室 | exhibition room | exhibition |
| 診察-室 | examination room | examination |
| 洗濯-機 | washing machine | washing |
| 蓄電-池 | storage battery | storage |
| 逮捕-状 | arrest warrant | arrest |

日本語の語種には和語・漢語・外来語・混種語があり、漢語は全語彙の5割以上を占めている。「漢字かな交じり」で表記される日本において「漢語 VN+スル」から成り立つ漢語動詞は特定がしやすい。また、日本は、近代化の中で多くの英語を訳して取り入れたため、「血糖値 blood sugar value」「産油国 oil-producing country」「洗脳 brainwashing」のように漢字の表記から英語との関連性に気づきやすい。

現在、日本全国で目にする多言語表示の中の日英両言語の表示は、筆者が2014年度にニューヨークから始めた15か国・25以上の都市の調査の中で「もっとも進んでいる」と言える。ニューヨーク・ロンドン・パリ・ベルリン・ブリュッセル・ソウル・北京にも多言語表示は見られるが、日本ほど徹底していない。観光庁の方針に従い全国レベルで統一的に整いつつある日本で、特に東京・奈良・京都・九州の国立博物館のような優良多言語表示施設では多くの漢語 VN が説明に用いられ、ほぼ例外なく英訳が付けられている。筆者はこの多言語表示を「参加誘導型視覚教材」と捉え、フィールドワークで活用

している⁽⁶⁾。英訳から多くの COUPLING と MATCHING の学習ができるためである。

8. おわりに

本稿では、日本における多言語表示の中の漢語動名詞に対応する英語の様子を名詞化の観点から取り上げた。外国語教育において、母語と目標言語との間の正の転移の要素を見つけ出し、類型化し、教育現場に還元することは重要な課題である。

日本の多言語表示にみる日中の両言語は、漢語の共有が目に見えるため、その共通性に気づきやすい。一方で、英語の場合は文字から共通性を見出しにくいところはあるが、本稿での考察から動詞化と名詞化の方向性は違うものの、概念化を「通言語的要素」として活用できることへの示唆を得た。また、接尾辞の *-tion* や *-ment* などの付加による名詞化への傾向から漢語動詞との関係で正の転移として捉えられる可能性を見た。しかし、これを立証するためには大量の漢語動詞を用いた分析と考察が必要である。尹亭仁 (2027) で提示されているように、日本語には 7,000 語以上の漢語動詞がある。このリストをベースにして日英両言語における動詞化と名詞化の様子、すなわち MATCHING を具体的に引き上げたい。今後の課題である。

*本研究は、JSPS 科研費 24 K 04062 の助成を受けたものである。

注

- (1) 本稿で用いる写真は、いずれも筆者が現地で撮ったものである。
- (2) 影山 (2011: 210) はゼロ派生のことを「転成 (conversion)」と呼んでいる。
- (3) pilgrimage は、「巡礼する-巡礼」と MATCHING する場合もある。村上春樹の『色彩を持たない多崎つくると彼の巡礼の年』の英訳は *COLORLESS TSUKURU TAZAKI AND HIS YEARS OF PILGRIMAGE* になっている。
- (4) 尹亭仁 (2026) を参照されたい。
- (5) exhibition は展示、展覧だけでなく展に訳される場合もある。
- (6) 筆者は 2026 年度もゼミナールをはじめ、3つの授業の学生たちを引率して横浜美術館でフィールドワークを行った。

参考文献

- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房
—— 編 (2011) 『日英対照 名詞の意味と構文』 大修館書店
岸野英治 (2014) 『グランドセンチュリー英和辞典』 第3版 三省堂
國廣哲彌 (1999) 『プログレッシブ英語逆引き辞典』 小学館
佐竹秀雄・三省堂編修所編 (2010) 『デイリーコンサイス国語辞典』 第5版 (中型版) 三省堂
宮井捷二・P. E. ダベンポート (2012) 『グランドセンチュリー英和辞典』 第3版 三省堂
尹亭仁 (2024a) 「2字漢語動詞 1290 語の対応にみる日中韓 3 言語の異同」『神奈川大学人文研究』 210 pp. 25-51 神奈川大学人文学会
尹亭仁 (2024b) 「日韓両言語における 2 字漢語動詞の対応の諸相 (1) —— 「日韓漢語動詞 7000」の分析を中心に——」『神奈川大学人文研究』 213 pp. 131-154 神奈川大学人文学会
尹亭仁 (2026) 「写真で覚えるニューヨーク + α の街中の動詞 300 の用法」配布資料
尹亭仁編 (2027) 『日韓・韓日 2 字漢語動詞 7000 語の対照表 —— 日韓両言語の漢語動詞の対応に見る正の転移と負の転移に関する基礎的研究』 刊行作業中 三省堂
Bauer, Laurie (1983) *English Word-Formation* Cambridge Textbooks in Linguistics
—— (2022) *An Introduction to English Lexicology* EDINBURGH TEXTBOOK ON THE ENGLISH LANGUAGE
Plag, Ingo (2003) *Word-Formation in English* Cambridge Textbooks in Linguistics Cambridge University Press

Reiko Sakai (2009) 英語の「語脳」をつくる接頭辞と接尾辞の完全ガイド KOKUSAI GOGAKUSHA

On the Types of Nominalization in Japanese and English: Focusing on Two-syllable Sino-Japanese verbal nouns in Japanese multilingual signage

YOON Jeong-in

Abstract

In this paper, I examine how English corresponds to Sino-Japanese verbal nouns in multilingual signage in Japan, focusing on nominalization. Since English nominalization mainly occurs through affixation to verbs and adjectives, it occurs in the opposite direction to Japanese nominalization. Japanese consolidates the verbalization of Sino-Japanese VN into a single suffix *-suru*, whereas English does not.

By centering on the subcategory of verbs called “Sino-Japanese VN” and considering examples such as “re-serve-reservation,” “refrain-refrainment,” and “park-parking,” the correspondence becomes systematically visible. There are also nouns that cannot be captured by two-syllable Sino-Japanese VNs, such as “acculturation · hyphenation · jurisdiction · gentrification,” but it is possible to grasp the types of derived nouns, trends in nominalization rules, and the semantic distribution of derived nouns.

In multilingual signage in Japan, the sharing of Sino-Japanese words between Japanese and Chinese is visually apparent, making commonalities easier to notice. However, in English, it is harder to find commonalities from the written form, yet from the considerations in this paper, I gained the insight that, although the directions of verbalization and nominalization differ, conceptualization can be utilized as a cross-linguistic element. Moreover, the tendency toward nominalization by adding suffixes such as *-tion* or *-ment* suggests the possibility of regarding it as positive transfer in relation to Sino-Japanese verbs. To substantiate this, analysis and consideration using a large number of Sino-Japanese verbs are necessary.